

# ポント再生トイ紙購入は6割強 紙のまちアンケ 中小の共同化や行政支援を

【静岡通信】一部既報「富士市で先ごろ「紙のまち」を考えるシンポジウムが行われた。久保田隆三春日製紙工業(株)会長ら三人のパネラーが中小製紙の抱える問題点など現状分析や将来について話した。主催者側が参加者へのアンケートを集計した結果、概要は次の通り。

【大手工場の閉鎖・撤退について】ほとんどが地場産業の行く末が心配、雇用・仕事量の減少で影響あるとしている。【中小製紙について】富士地域の生産・事業所・従業員数でトップ産業を九〇％近くが知っていると答え、トイレ紙購入基準では六二・三％が再生紙、価格で選ぶも二〇％余あった。【中小製紙の経営を守るポイント】共同化を進めるが六五・二％のほか、行政支援を強化も四七・八％を占めた。

参加者の感想・意見ではおおむねパネラーの現状分析は有意義とし、全国へPRの強化やインフラコスト問題、火力発電所の建設などさまざまな意見があった。ただ参加者は四〇〜七〇歳代が大部分で若年層の関心は薄いようだ。また回答者には組織や製紙関係者らも含まれ一般消費者とは言えない部分もある。

**京王製紙がリファイナー更新で省エネ効果**  
(静岡通信) 白板紙および加工紙など製造の京王製紙(株)(富士市南町四一四、齊藤幸秀社長)はリファイナー更新で省エネ成果をあげている。昨夏の節電対策で抄紙工場の各装置類の動力見直しなどを行い、叩解機をコニカル型リファイナー(サトミ製作所製ビ-

トファイナー・七五kw)に更新し消費電力を大幅に低減した。六月には中層用に二台目を設置、夏過ぎには表層ラインに三台目を導入する。省動力効果により契約電力の低減のほか「騒音がなく作業環境改善につながった」としている。

## KPPが愛知県でもエコモ設置へ

(中京通信) 国際紙パルプ商事は昨年、関東地区を中心に「エコモ」エコポイントシステム(古紙回収ポイント制度)を開始したが、このほど名古屋支店として第一号店となる愛知県高浜市神明町のTぽーと高浜に設置が決まった。八月十日から十二日までキャンペーン期間として近隣家庭にチラシ四万部を配布、先着一〇〇人にBOXティッシュ、さらに三日間はポイント三倍を利用者に提供する予定。

写真回収機

同社は今年からエコモの全国展開を行うが、昨年の二カ所を今年度中に一〇カ所設置が目標と目している。

## 新社屋の記念企画 歌川広重浮世絵展

三菱製紙

◇…(東京通信) 三菱製紙はこのほど、新社ビル内に製品をより身近に感じてもらうため展示スペース「見本室ギャラリー」を開設、第一企画として「新社屋記念企画：歌川広重浮世絵展」を開催する(写真)。ゴッホやモネなどに影響を与えた歌川広重は、「名所江戸百景」など数々の名作を残し、新本社のある両国界隈も描いている。

◇…中で著名な「東海道五十三次」の全五五作品を三菱製紙が提供する製品に印刷をした。一般的な印刷用紙であるアート紙やコート紙、またインクジェット用紙、不織布など同社各製品の風合いを楽しんでもらう。場所は三菱製紙本社一階両国シティコアで入館無料。期間は十七日〜八月中旬。



## 記者手帳から…

富士まつりに段木製の巨大「かぐや姫」  
◇…二十二日、富士市蓼原の中央公園や公園前青葉通りを会場に、「富士まつり2012」が開催された。入り口近くの会場内に高さ三メートル、八層のペーパークラフト・巨